土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　三次町地区　急傾斜地崩壊対策事業に伴う測量・地質調査・設計・用地調査業務委託(交付金)その2

事業・工事名

調査目的及び調査対象　その他　自然斜面

ボーリング名	BorNo.R5-4	調査位置	広島県三次市三次町　地内	北緯	34° 49' 22.2400"
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和5年 9月14日～ 令和5年 9月26日	東経	132° 49' 04.0700"
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者 / ボーリング責任者	
孔口標高	TP 197.88m	角度	180°(上) 90° 0°(下) 0°	方向	0°北 90°東 180°南 270°西
総削孔長	10.00m	地盤勾配	42° 水平0° 鉛直90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機　DO-C型 / エンジン：ヤンマー　NS-90EK型 / ポンプ：東邦地下工機　BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図	N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
0	197.18	0.70		砂質土		褐灰	rd2		最上部層(表土) ・最上位は腐植混じる黒褐の腐葉土 ・砂は細-中粒、細粒分及び腐植を伴う				1.15	5	5	6	16/300							
1			礫混り粘土質砂			黄褐	rd3		崩積土 ・基岩同質の岩屑主体の崩壊堆積物 ・礫はφ50mm程度以下の基岩同質の細-中礫、クサリレキ点在 ・基質は基岩風化帯を起源の粘土質砂			16	1.45 2.15	3	4	5	12/300							
2	195.18	2.70										12	2.45											
3	194.08	3.80		流紋岩		黄灰			流紋岩質凝灰岩強風化岩(DH) ・風化変質によって土砂化した脆弱部と軟岩Ⅰ相当のやや硬質な残留岩芯が混交する ・原岩組織は明瞭に残存 ・採取試料は脆弱部では土砂状を呈し、残留岩芯は岩片-短柱状を呈す ・GL-3.20-3.50m間やや硬質な残留岩芯	9/20 2.90		50以上	3.05 3.14	50/90			50/90	90						
4												50以上	4.00	貫入不能			50/0	0						9/15
5																								
6				流紋岩		灰緑			流紋岩質凝灰岩(OM) ・岩質は新鮮かつ中硬質を示す ・全体に節理発達、緩い斜状～高角度で交差して分布 ・亀裂面は暗褐灰色に変色し黄灰色の膠着物質が挟在 ・採取試料は岩片-短柱状、ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する ・GL-5.80m以深、節理発達し亀甲様の毛髪状節理の密集帯で礫-岩片状を呈す															9/19
7																								
8	189.08	8.80		流紋岩		灰褐			流紋岩質凝灰岩(破砕帯部：CL相当) ・全体に破砕著しく採取試料は礫状を呈す ・上位及び下位の非破砕部とは∠45°程度で接する																9/20
9				流紋岩		灰緑			流紋岩質凝灰岩弱風化岩(CL) ・岩質はやや堅硬なるも亀甲状～高角度の不規則な節理が発達 ・節理面は暗褐色に変色し場所的に膠着物(黄灰色)が挟在 ・採取試料は岩片-礫状 ・GL-9.00-9.30m間、弱破砕区間															9/21
10	187.88	10.00																						
11																								
12																								
13																								
14																								
15																								